

伊勢市観光振興基本計画の検証結果（平成27年）

●5つの指標に基づく検証

〈全体〉 目標に対する達成度合い

- ・「宿泊者数」「満足度」については、目標値を達成したが、その他の項目は目標を未達成となった。
- ・消費額の増につながるよう、より一層市内周遊の取り組みが必要である。

〈A 参拝者数〉 平成27年目標値 1,000万人 ⇒ 実績値 838万人

- ・平成27年分において目標値を下回った。達成度合いは83.8%
- ・参拝者数は減少したものの、依然として高いレベルの来訪がある。
- ・前半は低調であったが、後半は持ち直し傾向にあるためこの状況を好機とし、高い水準を保っているものの参拝傾向が減少している外宮への周遊を促す取り組みが必要である。

〈B 伊勢・二見宿泊者数〉 平成27年目標値 50万人 ⇒ 実績値 57万人

- ・平成27年から伊勢旅館組合加入施設以外の宿泊施設も含んでおり、また、平成27年は前年と比較して回収率が向上しているため、回答施設数が増となり前年55万人より上回っている。達成度合いは114%

〈C 観光消費額〉 平成27年目標値 805億円 ⇒ 実績値 561億円（※）

- ・目標値を下回った。達成度合いは69.7%。
- ・観光客数の減に比例して消費額も減となった。観光客の周遊を促し、消費額を向上する必要がある。

〔（参考）市独自の調査（平成27年伊勢市観光客実態調査）結果〕
平成27年観光消費額は980億円（平成26年1,196億円 対前年比81.9%）

〈D 参拝者数の比〉 平成27年目標値 外宮参拝者41% ⇒ 実績値35%

- ・目標値を下回った。達成度合いは85.4%
- ・前回遷宮のあった平成5年以降、3番目の参拝者数となり高い水準を保っているものの、外宮への参拝傾向は減少しているため、周遊を促す取り組みが必要である。

〈E 満足度〉 平成27年目標値 83.8点 ⇒ 実績値 85.0点（※）

- ・目標値を上回っている。達成度合いは101.4%。
- ・高い満足度を維持しているが、移動・交通などの負の部分への対策が引き続き必要である。

〔（参考）市独自の調査（平成27年伊勢市観光客実態調査）結果〕
平成27年総合満足度84.6点（平成26年85.3点 対前年比99.2%）

（※）伊勢市観光振興基本計画策定時には、市単独の消費単価・満足度の数字がなかったことから、指標となる目標値・実績値は、三重県観光客実態調査報告書の数字を利用して算出を行っている。平成26年から伊勢市観光客実態調査を実施し、市単独の消費単価・満足度を把握できるようになったことから、この資料には参考として市独自の調査結果も掲載を行った。

●基本方針に基づく検証 と 平成 27 年度・平成 28 年度の取組み

基本方針 1 「観光・交流を生み出す・広げる 新たな地域資源の発掘、開発・磨き上げ」

・潜在的な観光・交流の資源を地域で掘り起こし、磨き上げ、洗練することで、新たな魅力を発信し続けリピーターを飽きさせないようにすることが必要である。

【H27 進捗度：△】

【H27】 ネイチャーツーリズムの一つとして朝熊ヶ岳参詣マップの作成を実施。

【H28】 若者向けの着地型旅行商品の販売に向けた企画・開発・宣伝等を実施する。

★課題★途切れることなく確実に実施していく必要がある。

・来訪者の属性や目的、伊勢に求める潜在的なニーズを深く調査し分析した上で、新たな資源の発掘をする必要がある。

【H27 進捗度：△】

【H27】 観光客実態調査や観光事業者に対し訪日外国人受入に関する現場の実態やニーズの調査を実施。

★課題★今後、実施した調査を深く分析し、観光事業者への情報提供及び事業の実施へつなげる必要がある。

基本方針 2 「観光・交流の負をなくす 笑顔で迎える受入基盤・環境の整備」

・すべての人が快適に過ごせる空間づくりを目指し、まち全体でソフト面・ハード面の両面で受入環境の整備を実施することが必要である。

【H27 進捗度：○】

・【H27】 おもてなしやインバウンド・バリアフリーに関する講習会を実施。

・【H27】 車椅子参拝サポートの事業化に着手。平成 28 年度から『おもてなしヘルパー』のサービス提供開始予定。

・今後増加することが予想される外国人観光客が満足を得られる受入環境整備を推進することが必要である。

【H27 進捗度：○】

・【H27】 観光案内所の英語対応可能スタッフの増員及び外国人向けマップを作成。

・【H27】 観光案内所及び手荷物預かり所に現在よりも多くの端末に同時接続できる Free Wi-Fi を設置。また Free Wi-Fi の面整備について、将来の負担やセキュリティ面も考慮しながら公的に整備する必要があるかを検討開始。

・【H27】 らくらく伊勢もうで（交通情報HP）の英語版を作成。

・【H28】 バリアフリーマップを英語表記にする。

★課題★現在、最低限不可欠である言語などの負のハードルを下げる取り組みを進めているが、今後は伊勢ならではの魅力を発信する取り組みが必要である。

基本方針3「観光・交流を地域一体で推進する 行政・事業者を越えた地域連携の推進」

- ・事業者同士が分野を越えて協力し合い、そこに行政も連携することで相乗効果を図る。また、夕方以降や早朝の滞在及び消費の促進、地域産業と連携する必要がある。

【H27 進捗度：○】

- ・【H27】「伊勢お得旅商品券」を販売し、誘客、消費を促進。
- ・【H28】DMO 構築に向けた支援を行う。

基本方針4「観光・交流を効果的に届ける ターゲット別PR戦略と検証可能な取り組み」

- ・ターゲットを絞り戦略的な情報発信を行い、結果の検証をしっかりと行うことが必要である。

【H27 進捗度：○】

- ・【H27】伊勢市とJR東海との連携で観光キャンペーンを展開。オリジナル御朱印帳作成や、PRイベントを実施。それにあわせて旅行会社2社でも旅行商品を販売。H28は記事を掲載した雑誌を新幹線車内へ設置、抜き刷りにしてPRに活用。
- ・【H28】日本、特に伊勢に対し興味のある外国人に対し、WEB上で動画を配信。NHK国際放送を活用し、伊勢志摩の情報を発信。

★課題★来訪実績だけでなく、消費額・満足度、市内周遊につながっているかどうかを検証して改善する必要がある。

基本方針5「観光・交流を広域で受け入れる 競争と協働視点での広域連携の推進」

- ・広域連携することで、点ではなく面で誘客を図り、お互いの観光資源を有効活用することで共にさらなる発展を目指す。

【H27 進捗度：○】

- ・【H27】「市単独で実施」「広域で連携」とすみ分けを行い、引き続き情報発信を行った。

基本方針6「観光・交流のつながりを磨く 市民の地域愛からにじみ出る「おかげさまの心」

- ・市民の地域愛を醸成し、高い「市民力」を持つ人材、将来の伊勢を担う人材の育成を図る必要がある。

【H27 進捗度：○】

- ・【H27】「伊勢っ子育て事業」を開始。小学生高学年を対象に、楽しみながら観光案内などを体験しつつ、伊勢の歴史文化や観光に触れる場を設け、次世代の担い手につなげる。
- ・【H27】「おもてなし基礎講座」を開催。

★課題★

- ・地域の方々の熱意を観光振興に活かす場や直接観光客と接するスタッフのスキルアップの場の提供が必要。